

第36回

前田夕暮生誕 140 周年記念

# 夕暮祭短歌大会

主催 / 秦野市・秦野市教育委員会

はだの  
美しい自然と名水のふるさと「秦野」。

まただゆうぐれ  
私たちのふるさとが生んだ歌人 前田夕暮の功績をたたえ、

『夕暮祭短歌大会』を開催します。



前田夕暮53歳  
昭和11(1936)年



## ■ 作品募集 ■

応募フォーム又は郵便はがきに、  
自作の未発表の短歌一首・住所・  
氏名(フリガナ)・年齢(学年)・  
電話番号を書いてお送りください。  
※詳しくは中面をご覧ください。

応募フォームはこちら↓

応募締切

令和5年

4月30日(日)

## ■ 表彰式及び

トークショー ■

日時：令和5年7月29日(土)

午後1時半〜

場所：秦野市立図書館

視聴覚室

## ■ 送付・問い合わせ先

秦野市立図書館「夕暮祭」係

〒257-0015

神奈川県秦野市平沢94番地の1

電話 0463(81)7012

## 令和5年度 前田夕暮生誕140周年記念・第36回夕暮祭短歌大会実施要項

ふるさと秦野が生んだ歌人前田夕暮(まえだ ゆうぐれ)の功績と文学遺産を後世に引き継いでいくとともに、本市における短歌のふるさとづくりを推進するため、短歌大会を開催します。

今回は、前田夕暮生誕 140 周年を記念して、「夕暮生誕 140 周年記念特別賞」を設けます。また、表彰式後には、本大会選者及び夕暮記念こども短歌大会選者の3名によるトークショー『前田夕暮を語る』を実施します。

### 1 作品募集

(1) 個人による応募受付は応募フォーム又は郵便はがきによる受付とし、以下の必要事項を記入すること。

ア 短歌作品

イ 住所

ウ 氏名(フリガナ)

エ 年齢(学年)

オ 電話番号

カ 生年月日 ※応募フォームの場合

キ メールアドレス ※応募フォームの場合

(2) 学校等団体で5名以上まとめて応募する場合は、Word 又は Excel に必要事項を全て入力し、電子メールに添付しての応募を認める。

送付先は以下のとおりとする。

メールアドレス：[tosyo@city.hadano.kanagawa.jp](mailto:tosyo@city.hadano.kanagawa.jp)

(3) 題は、自由題とする。

(4) 1名1首とし、自作・未発表の作品に限る。なお、応募後の作品の差し替え、字句の訂正等には応じない。

(5) 氏名及び難読漢字等には「フリガナ」を付すこと。応募フォーム及び5名以上の団体による電子メールの場合、「フリガナ」はカッコ書きにすること。

(6) 入賞者には6月中旬頃、文書により通知する。

なお、選考に関する問い合わせには応じない。

(7) 応募作品と同一の作品又は酷似する作品が先行して発表されていた場合は、応募及び入賞を取り消すことがある。

(8) 応募はがきは、返却しない。

(9) 応募作品の著作権は、主催者に帰属するものとする。

(10) 応募締め切りは、令和5年4月30日(日)とする(はがきの場合は消印有効)。

(11) 入賞した場合、氏名及び作品を広報活動に必要な範囲で、出版物、パンフレット、ホームページ、広告等でそのまま又は一部加工して利用する場合がある。

## 2 送付先

〒257-0015 神奈川県秦野市平沢 94 番地の 1 秦野市立図書館「夕暮祭」係

## 3 選者

(1) 山田 吉郎(やまだ よしろう)氏

(歌人、歌誌「ぷりずむ」選者、鶴見大学名誉教授、現代歌人協会会員)

(2) 寺尾 登志子(てらお としこ)氏

(歌人、歌誌「りとむ」同人、跡見学園女子大学講師、現代歌人協会会員)

## 4 賞等

(1) 秦野市長賞 1点(賞状、副賞、記念品)

(2) 夕暮生誕140周年記念特別賞 1点(賞状、副賞、記念品)

(3) 秦野市教育委員会教育長賞 1点(賞状、副賞、記念品)

(4) 秦野短歌会会長賞 1点(賞状、副賞、記念品)

(5) 山田吉郎選者賞 1点(賞状、副賞、記念品)

(6) 寺尾登志子選者賞 1点(賞状、副賞、記念品)

(7) 佳作 20点(賞状、記念品)

## 5 表彰式及び夕暮生誕140周年記念トークショー

(1) 日時 令和5年7月29日(土)午後1時半から(4時終了予定)

(2) 場所 秦野市立図書館視聴覚室

(3) 表彰式 表彰並びに講評

(4) 夕暮生誕140周年記念トークショー『前田夕暮を語る』

出演者 山田吉郎氏、寺尾登志子氏、古谷円氏(夕暮記念こども短歌大会選者)

## 6 作品集

全ての応募作品を収録した「第36回夕暮祭短歌大会作品集」を作成し、入賞者及び表彰式参加者へ贈呈する。

また、作品集を希望する応募者には、大会終了後に郵送等により贈呈する。

(応募の際に応募フォーム、はがき又は電子メールに「作品集希望」と記入し、送料は受取人が負担することとする。)

7 主催 秦野市・秦野市教育委員会

8 協力 秦野短歌会

9 後援(予定) 現代歌人協会、日本歌人クラブ、神奈川県歌人会、  
神奈川新聞社、tvk(株式会社テレビ神奈川)



## — 前田夕暮 【まえだ ゆうぐれ】 —

明治 16 年（1883 年）、現在の秦野市南矢名に豪農の長男として生まれる。明治 43 年に発表した第一歌集『収穫』で一躍その名を馳せ、若山牧水とともに「夕暮・牧水時代」と称される自然主義短歌の全盛期を築き、昭和 26 年に没するまでの間に多くの短歌を残す。転換を繰り返した歌風の中でも、とくに口語による斬新な表現や「自由律短歌」の先駆者として、短歌史に大きな足跡を残している。

【代表歌】 木に花咲き君わが妻とならむ日の四月なかなか遠くもあるかな（『収穫』）